



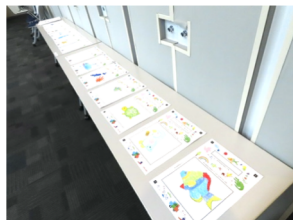
新型コロナウイルス流行中に医療と共に生きる子どもたちを笑顔に
自分で描いた絵が泳ぐ体験型イベント

「みんなでつくろう！ とーぶすいぞくかん」実施

1,600km離れた沖縄美ら海水族館の「ジンベエザメショー」を病室で鑑賞

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部神奈川県
済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市、
以下、当院）は、慢性疾患の子どもたちが
描いた絵を使ってバーチャル水族館「みん
なでつくろう！ とーぶすいぞくかん」を国
際ロータリー第2590地区ローターアクト学
友会（創立会長 小島智彦、以下地区RA学友
会）と1月29日（土）に開催しました。

コロナ禍で治療に励む子どもたちは様々な
我慢を強いられています。例えば入院環境
の問題として「面会の制限」「付き添い者の交
代制限」「発熱者の隔離」があり、その影響
で円形脱毛症になるお子さんがいるなど、
子どもと家族が安心して治療が受けられる
環境ではなくなっていました。こうした
子どもたちのストレス反応に当院スタッ
フは心を痛み、面会制限を緩和し、なるべ
く保護者とお子さんといっしょにいられ
る時間と空間を増やそうと決意しました。



子どもたちに描いてもらった絵がイベント
当日に泳ぎ「とーぶすいぞくかん」が完成



子どもたちはそれぞれの病室から
「とーぶすいぞくかん」を鑑賞

「コロナ禍で我慢を強いられている子どもたちに笑顔を」

本企画は、当院で御息が誕生して以来ご
縁のある小島智彦氏が発起人の地区RA学友
会とタイアップし、リコージャパン（株）
による紙アプリを利用した体験型イベント
「みんなでつくろう！ とーぶすいぞくかん」
を企画。

さらには、遠く1,600km離れた沖縄美ら海
水族館と中継を結び、「ジンベエザメ
ショー」に始まる遠隔授業を実施。楽しい
思い出となる場を提供し、子どもたちに笑
顔を届けました。



イベント最後はみんな笑顔で記念撮影
ご家族も一緒に楽しいひと時を過ごしました

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：今野、荒木

TEL：045-576-3000

Email：koho@tobu.saiseikai.or.jp

「みんなでつくろう！とーぶすいぞくかん」企画概要

日時：2022年1月29日（土）13:30～16:00

場所：済生会横浜市東部病院およびzoom

参加人数：大人47名 子ども45名 計92名（オンライン参加）



第1部 済生会横浜市東部病院

チャイルド・ライフ・スペシャリスト 井上絵未卓話

「医療と共に生きる子どもたち 子どもを支える大人たち」

第2部 子どもたちへの奉仕プロジェクト

「みんなでつくろう！とーぶすいぞくかん」

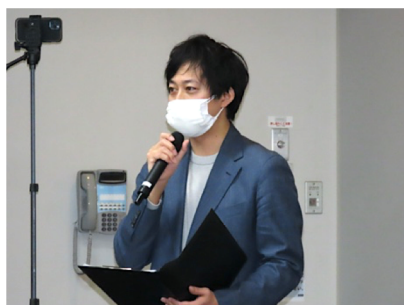


プロジェクト動画配信中

<https://youtu.be/7093ST3jQ>

主催者紹介

国際ロータリー第2590地区
ローターアクト学友会 創立会長 小島智彦



我が子も済生会横浜市東部病院で生まれ、医療的ケアが必要なことから長期間お世話になりました。私たち家族もコロナ禍での入院生活に様々な葛藤がありましたが、係る環境の中でも子どもと家族の為に確固たる決意と創意工夫を以って地域医療を支えて下さっている病院の皆様には敬意と感謝の意を表します。本企画は、コロナ禍で様々な我慢を強いられている子どもたちに笑顔になってもらいたい、という病院と弊会の想いが重なり、実現に至ったものです。本企画を通じて、子どもと家族の楽しい思い出を作ることが出来たなら嬉しく思います。そして、コロナ禍における病院、子ども、家族の現状を少しでも多くの方に知っていただければ幸いです。

地区ローターアクト学友会 フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/ra.alumni.2590>

当日の活動報告動画も掲載しております



<プロフィール>

小島 智彦（こじま ともひこ）

国際ロータリー第2590地区ローターアクト学友会創立会長。2019年に妻と死別し、重症心身障害児・医療的ケア児を育てるシングルファザー。

済生会横浜市東部病院
チャイルド・ライフ・スペシャリスト 井上絵未



コロナウィルスが流行しはじめてから、医療者が頑張っているという報道は頻繁に見聞きしますが、医療と共に生活している慢性疾患がある子どもたちやご家族が私たち医療者と一緒に頑張ってくれていることはあまり知られていません。入院中の面会への影響だけでなく、自宅でも外出する機会が減り、疾患のない兄弟にも感染対策に細心の注意を払ってもらっているというお話をよく聞くようになりました。コロナ禍になり2年間。私たちと一緒に頑張ってくれている子どもたちやご家族に病院から何か楽しいプレゼントができないか、と考えました。1ヶ月かけて集まった絵は75枚。医療者をはじめとした大人が描いた絵もあわせて107枚。個性あふれる私たちだけの水族館が出来上がりました。

<プロフィール>

井上 絵未（いのう えみ）

アメリカ留学を経て、国内14番目のCLSに。前CLS協会会長。臨床以外にも子どもたちのための情報収集や環境整備の企画提案等も行う。